

平成25年 6月3日

森林総合研究所北海道支所と下川町とによる共同研究協定締結について

独立行政法人森林総合研究所北海道支所は、下川町と「北方人工林施業に適した低コスト生産システムの開発」に関する共同研究協定を締結する運びとなりました。

独立行政法人森林総合研究所は、わが国最大の森林・林業・木材産業に係わる研究機関であり、北海道支所は、地域に適した北方人工林施業に関する科学技術に裏付けられた課題解決型のイノベーションを進めており、森林・林業・木材産業に係わる先導的研究機関です。

一方下川町は、平成23年12月、国の新成長戦略の国家プロジェクト「地域活性化総合特区制度」において、半世紀にわたり築いてきた森林・林業を基盤として、経済的に自立する森林総合産業の構築のため「森林総合産業特区」として指定を受けています。その実現のためには、森林施業の集約化に応じた、低コストで持続可能な林業の実現などが重要であり、専門的な知識や技術、ノウハウが必要です。

こうしたことから、北海道における主要造林樹種であるカラマツ・トドマツの人工林施業技術の高度化を図り、林業の活性化とともにこれらを地域資源と活用することを目的に、この度、森林総合研究所北海道支所と下川町において上記の共同研究に関する協定が結ばれることとなりました。このなかで、北海道支所は、コンテナ苗、カラマツ大苗、カラマツ・グイマツF1等を利用した造林技術のコスト評価やその他の人工林施業全体に関わるコスト削減に関する研究を行い、下川町は、その研究成果に基づき、地域条件に適した人工林施業システム及び北方樹種コンテナ苗技術の実証等を行う予定です。

本協定の調印式は下記のとおり行われます。この協定締結により、北海道人工林の低コスト生産システムの研究が大きく進展すると期待されます。

記

日時：平成25年6月10日(月曜日) 16：30～

場所：下川町役場2階町長応接室

問い合わせ先など

独立行政法人森林総合研究所 北海道支所 支所長 牧野俊一

研究推進責任者：森林総合研究所 北海道支所 産官学調整監 佐々木尚三

広報責任者：森林総合研究所 北海道支所 連絡調整室長 室谷邦彦

TEL:011-590-5503 FAX:011-851-4167